

東京福祉大学

2025年度 一般選抜2期 2科目型 (2月7日)

選択科目 試験問題

(制限時間120分で各自選択した2科目を受験)

「現代の国語・言語文化」	P.1～P.4
「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」	...	P.5～P.7
「数学Ⅰ・A」	P.8～P.9

あなたの受験票に記載されている科目で受験すること。記載されている科目以外で受験しても無効になります。

※試験開始の合図があるまで、開いてはいけません。
※この問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

受 験 番 号

氏 名

2025年度 一般選抜2期 2科目型（2月7日）

現代の国語・言語文化

※問題は次のページからです。

【問題】次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

とにかく書いてみる

考えをまとめようとして、なかなか思うように行かなくて、いらいらすることがある。よく調べて、材料はたっぷりあるのだが、ア、たっぷりありすぎるから、どうまとめたらいいか、トホウに^①くれる、というのかもしれない。

まとめ、というのは、実際やってみると、なかなか、たいへんな作業であるのがわかる。その面倒さにてこずったことのある人は、だんだん、整理したり、文章にまとめたりすることを敬遠するようになる。そして、ただ、せっせと本を読む。読めば知識はふえる。材料はいよいよ多くなるが、それだけ、まとめはいつそうやっかいになる。こうして、たいへんな勉強家でありながら、ほとんどまとまった仕事を残さないという人ができる。

もうすこし想を練らなくては、書き出すことはできない——卒業論文を書くこととしている学生などが、よく、そう言う。ぐずぐずしていると、時間がなくなってきた、あせり出す。あせっている頭からいい考えが出てくるわけがない。

そういうときには、

「とにかく書いてごらんなさい」

という助言をすることになっている。ひよつとすると、書くのを怖れる^{おそ}気持があるのかもしれない。それで自分に口実をもうけて、書き出すのを一日のぼしにする。他方では、締切りが迫ってくるというシヨウソウ^②も大きくなってくる。

頭の中で、あれこれ考えていても、いっこうに筋道が立たない。混沌^{こんとん}としたままである。ことによく調べて、材料がありあまるほどあるというときほど、混乱がいちじるしい。いくらなんでもこのままで書き始めるわけには行かないから、もうすこし構想をしっかりしてというのが論文を書くこととする多くの人に共通の気持である。それはずい。

気軽に書いてみればいい。あまり大論文を書くことと気負わないことである。力が入ると力作にならないで、上すべりした長篇^{ちやうへん}に終ってしまいがちである。いいものを書きたいと思わない人はあるまいが、思えば書けるわけではない。むしろ、そういう気持をすてた方がうまく行く。論文でなく、報告書、レポートでも同じだ。

こどものとき実にいい字を書いたのに、大人になると、どうしてこんなことになったのかというほどあわれな字を書く人がすくなくない。こどものときは、無心である。うまく書くことは思わないから、イ、のびのびしたいい字になった。すこしほめられたりして自信がつくと、こんどは上手に書いて、ほめられたいという気持がおこってくる。そうすると、なかなか上達しない。文章を書くのも同じであって、欲を出すと逆効果になる。

まだまだ書けないと思っているときでも、もう書けると、自分に言いひかす。とにかく書き出すと、書くことはあるものだ。おもしろいのは、書いているうちに、頭の中に筋道が立ってくる。頭の中は立体的な世界になっているらしい。あちらにもこちらにもたくさんのが同時に自己主張している。シュウシュウ^③すべからざる状態という感じは、そこから生じるのであろう。

書くのは線状である。一時にはひとつの線しか引くことができない。「AとBとは同時に存在する」、と考えたとしても、AとBとを完全に同時に表現することは不可能で、かならず、どちらかを先に、他をあとにしないではない。られない。

裏から言うと、書く作業は、立体的な考えを線状のことばの上にのせることである。なれるまでは多少の抵抗が

あるのはしかたがない。ウ、あまり構えないで、とにかく書いてみる。そうすると、もつれた糸のかたまりを、一本の糸をいと口にして、すこしずつ解きほぐして行くように、だんだん考えていることがはつきりする。

また、書こうとしてみると、自分の頭がいかに混乱しているかがわかったりすることもある。そういう場合でも、とにかく書いてみようとしていれば、すこしずつだが、筋道がついてくる。

頭の中にたくさんのことが表現を待っている。それが一度に殺到したのでは、どこから書いたらよいのか、わからなくなってしまう。ひとつひとつ、順次に書いて行く。どういう順序にしたらいいかという問題も重要だが、初めから、そんなことに気を使っていたのでは先へ進むことができなくなる。とにかく書いてみる。

書き進めば進むほど、頭がすっきりしてくる。先が見えてくる。もっともおもしろいのは、あらかじめ考えてもいなかったことが、書いているうちにふと頭に浮んでくることである。そういうことが何度も起れば、それは自分にとってできるよい論文になると見当をつけてもよからう。

書き出したら、あまり、立ち止まらないで、どんどん先を急ぐ。こまかい表現上のことなどでいちいちこだわり、書き損じを出したりしていると、勢いが失われてしまう。

全速力で走っている自転車は、すこしくらいの障害をもともしないで直進できる。ところがノロノロの自転車だと、石ころひとつで横転しかねない。速度が大きいほどジャイロスコープの指向性はしつかりする。

いかに論文だからとは言え、書いては消し、消しては書くといったことをしていれば、何を言おうとしているかわからなくなる。一瀉千里に書く。とにかく終りまで行ってしまう。そこで全体を読みかえしてみる。こうなればもう、訂正、修正がゆつくりできる。

推敲する。部分的な改修ではなく、構造的変更、エ、まん中の部分を冒頭へ、あるいは、最後部を最初へもつてくる、という大手術を加える必要もある。ただ、一応、終りまで行っているという安心感があるから、ゆとりをもって、工夫をこらすことができる。

第一稿が満身創痍になったら、第二稿を作る。これもただ第一稿の訂正のあとを写しとるというのではつまらない。新しい考えをなるべく多くとり入れるように努めながら、第二稿を作りあげる。これもまた推敲する。それで目立って改善されたようだったら、第三稿を作る。もうこれ以上は手を加える余地がないというところに至ってはじめて、定稿にする。書きなおしの労力を惜しんではならない。書くことによつて、すこしずつ思考の整理が進むからである。何度も何度も書きなおしをしているうちに、思考の④ショウカの方法もおのずから体得される。

書いてみることのほかに、聴き上手な相手を選んで、考えていることをきいてもらうのも、頭の整理に役立つ。

オ、めったなことを話してはいけないということもある。それと⑤ムジュンするようだが、整理のためにはとにかく表現してみるのがよい。

原稿に書いたものを推敲する場合でも、黙って読まないで音読すると、考えの乱れているところは、読みつかえるからすぐわかる。声も思考の整理にたいへん役立つのである。

『平家物語』はもともと語られた。くりかえしくりかえし語られている間に、表現が純化されたのであろう。たいへんこみ入った筋であるにもかかわらず、整然として頭に入ってくる。作者はいかにも頭脳明晰であるという印象を与えるが、これはひとりの作者の手柄ではなく、長く語ってきた琵琶法師の集団的功績ともいうべきものであろう。

思考は、なるべく多くのチャンネルをくぐらせた方が、整理が進む。頭の中で考えているだけではうまくまとまらないことが、書いてみると、はつきりしてくる。書きなおすとさらに純化する。ひとに話してみるのもよい。書いたものを声を出して読めば、いっそうよろしい。『平家物語』が「頭がいい」のは偶然ではない。

問一 本文中の傍線①～⑤の片仮名を漢字にしない。

- ① トホウ ② ショウソウ ③ シュウシュウ ④ ショウカ ⑤ ムジュン

問二 本文中の空欄

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

 に入る言葉の組み合わせが最も適切であるものを次の①～⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| ① アかえって | イむしろ | ウときには | エかえって | オつまり |
| ② アむしろ | イかえって | ウただ | エつまり | オときには |
| ③ アただ | イツまり | ウむしろ | エただ | オむしろ |
| ④ アときには | イただ | ウつまり | エときには | オかえって |
| ⑤ アつまり | イときには | ウかえって | エむしろ | オただ |

問三 本文中二重傍線部に「口実をもうけて」とありますが、「口」が用いられている表現①～⑤の適切な意味を下のア～オの中から選び記号で答えなさい。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ① 口実をもうける | ア 両者が事前に示し合わせて話の内容が食い違わないようにすること |
| ② 後口が悪い | イ その人のいないところで悪口を言うこと |
| ③ 大口をたたく | ウ 実力もないのに偉そうなことを言うこと |
| ④ 口裏を合わせる | エ 物事が済んだ後に、後悔や不快感が残ること |
| ⑤ 陰口をたたく | オ 前もって言い訳を準備すること |

問四 本文の内容と合致するものに○を、合致しないものに×をつけなさい。

- ① 思考の整理には、できるだけ一つの視点（チャンネル）だけに絞って考えた方がまとめやすい。
- ② 論文を書く場合は、書く前にいろいろと考えて時間をかけることが何よりも大切である。
- ③ 論文は書いているうちに、頭の中に筋道が立って整理されてくることがおもしろい。
- ④ 論文を書き始めたら、何度も立ち止まって、すこしでもいい論文を書こうという気持が大切である。
- ⑤ 思考の整理には、書く以外に音読や聴き上手な人に自分の考えをきいてもらうことも効果がある。

問五 本文のタイトル「とにかく書いてみる」ということについて、あなたはどうか考えますか。本文の内容と自身自身の経験を踏まえて四〇〇字から六〇〇字で述べなさい。

2025年度 一般選抜2期 2科目型（2月7日）

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

※問題は次のページからです。

1 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい（固有名詞はそのまま使用してよい）。

In 1822, a young country doctor named Gideon Mantell was living in Sussex, England. He delivered babies and treated people with serious diseases. But Mantell had another passion as well. Ever since childhood, he had loved to collect fossils—the ancient remains of dead plants and animals. Whenever he could, the busy doctor spent time digging near the chalky cliffs of England’s coastline. At first what he dug up were small pieces of fossil bones. But as time went on, he began to find some big bones—really big ones. The bones were too big to belong to any known animal. Even elephant bones would have been smaller.

Then one day, Mantell’s wife, Mary, found a few enormous fossil teeth. She brought them to her husband. What were they? What kind of animal could possibly have teeth as big as this? Mantell wasn’t sure what to think. He talked to other scientists. No one could agree about what they were. A man named William Buckland had once been given some huge bones. He studied them for six years and finally decided they belonged to a giant lizard no one had ever seen before. Buckland called it *Megalosaurus*, which means “big lizard.”

Mantell asked Buckland about the huge teeth he had found. But Buckland didn’t think they had come from a creature similar to his *Megalosaurus*. He said they came from a fish! After that, Mantell went to a museum and looked at other fossils and animal skeletons on display. The teeth he had found looked exactly like iguana teeth—only many times larger. If they came from an iguana, it would have to have been at least sixty feet long! That’s as long as a house! Suddenly Mantell realized something exciting. Like Buckland, he had discovered a new kind of animal no one knew about. He decided to call it *Iguanodon*.

Neither Mantell nor Buckland understood that they had stumbled onto a completely unknown group of animals. The word *dinosaur* hadn’t been invented yet—and wouldn’t be for another twenty years. But that’s what *Megalosaurus* and *Iguanodon* were. In the early nineteenth century, no one yet realized that in prehistoric times, gigantic animals had roamed the earth. But soon, more fossils were found, and slowly scientists began to put together the pieces of a long-lost world—the Age of the Dinosaurs.

出典 Megan Stine. *What Was the Age of the Dinosaurs?* New York: Penguin Workshop, 2017（一部改変）

<注>

Gideon Mantell：ギデオン・マンテル（1790–1852、英国の医師、古生物学者）

Sussex：サセックス（イングランド南部の州）

deliver：分娩させる

fossil：化石

chalky cliff：白亜の崖

William Buckland：ウィリアム・バックランド（1784–1856、英国の地質学者、古生物学者）

lizard：トカゲ

skeleton：骨格

iguana：イグアナ

stumble onto：～を偶然発見する

prehistoric times：先史時代

gigantic：巨大な

roam：歩き回る

問題

問1 下線部①はどのようなことを言っているのか、日本語で具体的に述べなさい。

問2 下線部②を日本語に訳しなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

問4 下線部④はどのようなことを言っているのか、日本語で具体的に述べなさい。

問5 下線部⑤を日本語に訳しなさい。

2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい（固有名詞はそのまま使用してよい）。

More American states are pushing for cell phone restrictions in high schools. The^①
move comes as teachers say it is a major problem in the classroom.

In July, Virginia became the latest in a growing number of U.S. states to restrict cell phone use in public schools. The state’s governor, Glenn Youngkin, issued an executive order to establish guidance and policies for local school systems to follow by January. Youngkin’s order said, “Studies indicate that students who use their phones during class^②
learn less and achieve lower grades.” It also cited an “alarming mental health crisis” among young people driven by the use of cell phones and social media.

Last year, Florida became the first state to restrict the use of cell phones in school. A^③
law that took effect in July requires all Florida public schools to ban student cell phone use during class time and block social media on the school’s wi-fi. The states of Indiana and Ohio passed their own laws this year. Several others, including Oklahoma, Vermont, and Kansas, have also recently introduced what is being called “phone-free schools” legislation. New York Governor Kathy Hochul said she will push for legislation to ban cell phone use in the coming legislative session in 2025.

In a recent public study, the Pew Research Center reported that 72 percent of U.S. high school teachers say cell phone distraction is a major problem in the classroom. Teachers report less of a problem with younger students.^④ About 33 percent of middle school teachers and six percent of elementary school teachers see cell phone use as problematic.

The Associated Press (AP) reported that a California teacher complained of students watching Netflix during class. In Maryland, a teacher said students used gambling apps to place bets during the school day.

Many educators in the U.S. said students used social media, listened to music, and^⑤
shopped online during the school day.

出典 Hai Do. “US States Push for Cell Phone Ban in High Schools.” *Voice of America Learning English Online* 23 July 2024（一部改変）

<注>

push for : 要求する	executive order : 行政命令
take effect : 発効する	wi-fi : ワイファイ（無線 LAN の規格の一つ）
phone-free : 携帯電話を用いない	distraction : 気晴らし
Netflix : 米国の大手動画配信サービス	
app : アプリ（application）《特定の仕事を処理するソフトウェア》	

問題

- 問 1 下線部①はどのようなことを指すのか、日本語で具体的に述べなさい。
- 問 2 下線部②を日本語に訳しなさい。
- 問 3 下線部③を日本語に訳しなさい。
- 問 4 下線部④はどのようなことを言っているのか、日本語で具体的に述べなさい。
- 問 5 下線部⑤を日本語に訳しなさい。

2025年度 一般選抜2期 2科目型（2月7日）

数学Ⅰ・A

※問題は次のページです。

注意 1 : 問題は全部で 3 題, 解答用紙は 3 枚ある。問題 1 の解答は **No. 1**, 問題 2 の解答は **No. 2**, 問題 3 の解答は **No. 3** の解答用紙に記入すること。

注意 2 : 解答にあたっては, 最終的な答えだけでなく, その詳しい説明と計算過程についても必ず「解答欄」に書くこと。

注意 3 : 作図を要する問題の解答にあたっては, 定規, コンパス, 分度器等の道具を使用しないこと。

注意 4 : 円周率を用いる場合には π を用い, 3.14 などの近似値に置き換えないこと。

問題 1

縦の長さが横の長さより短く, 周囲の長さが **40cm** の長方形がある。この長方形の面積が **91cm²** のときの縦と横の長さを求めよ。

問題 2

$0^\circ \leq a \leq 180^\circ$ のとき, 次の数式を満たす a をそれぞれ求めよ。

(1) $\sin a = \frac{1}{2}$

(2) $\cos a = -\frac{\sqrt{3}}{2}$

(3) $\tan a = -1$

問題 3

2 つの異なるサイコロを同時に振ったとき, 出た目の数の和が 3 の倍数になる場合は何通りあるか。また, その確率を求めよ。